

平成30年度愛知県の学力向上に向けた取組

愛知県教育委員会では、各学校の学力向上に向けた取組を支援するため、全国学力・学習状況調査の分析に役立つ「愛知県版結果分析プログラム」や日頃の授業のアドバイス等をまとめた「学力・学習状況充実プラン」を作成し配付する予定です。是非、校内研修や授業改善に御活用ください。

愛知県版結果分析プログラム

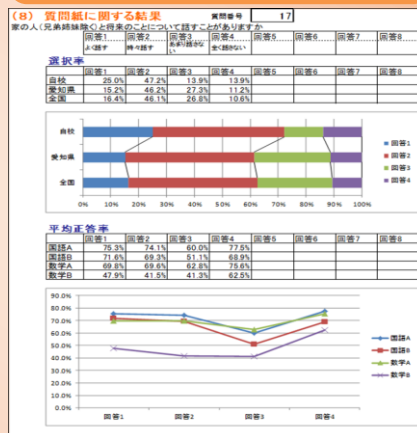
小学校版・中学校版共に9月末に配付予定

◇各学校で全国学力・学習状況調査の結果を分析するための支援プログラム

＜プログラムの主な特長＞

- 平均正答率等をグラフ化し、結果の分析に役立つ
- 領域別・観点別・形式別に結果を表示
- 標準偏差や四分位による比較も可能
- 問題別の平均正答率を一覧で示し、全国との差も表示
- 学力調査と質問紙調査のクロス集計により、学力と学習状況の関係も分析できる

平均正答率と質問紙調査のクロス集



学力・学習状況充実プラン

小学校版・中学校版共に11月末に配付予定

◇授業アドバイスシートを掲載した、日頃の授業改善に活用できる資料集

＜平成29年度の掲載事例＞

- 愛知県の全体の傾向 → 学力調査と状況調査のクロス集計等から、分かりやすく傾向を分析
- 教科書対応一覧 → 課題となった設問が、何年生で学習した内容なのかをまとめたもの
- 授業等アドバイスシート → 学力向上に向けた研究推進地区の取組や授業で使えるアイデアや指導すべきポイントを分かりやすくまとめたもの

平成30年度

愛知県の子供たちの学力向上に向けたガイドライン

～全国学力・学習状況調査を活用して～

愛知県教育委員会では、子供たちが課題を乗り越え、未来を切り拓いていくことができるよう確かな学力を含めた生きる力の育成を目指しております。

平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果を、毎年詳細に分析して子供たちの抱える課題を明らかにし、各学校における課題を解決していくために必要な教育施策を実践してまいりました。

平成30年度には、平成29年度の課題を踏まえ、各学校における学力向上の取組を支援するため、以下の3点を「改善の指針」として取り組んでいきたいと考えます。

- 1 知識・技能の定着を図り、自ら課題を解決できる「思考力・判断力・表現力等」を育成する。
- 2 児童生徒の実態を全職員で把握し、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。
- 3 小・中学校、家庭、地域が一体となった教育活動を推進する。

三つの指針のうち、特に「1」についての充実を図るために、過去3年間の学力・学習状況充実プランで示した「課題の改善に向けた方向性」をまとめ、課題解決の方向性と具体的な解決方法を学年ごとに一覧に示しました。

是非、このリーフレットを研修等で御活用いただき、各学校において、子供たちの学力向上に向けた学習指導の充実が図られることを期待しております。

平成30年3月

愛知県学力向上推進委員会
愛知県教育委員会



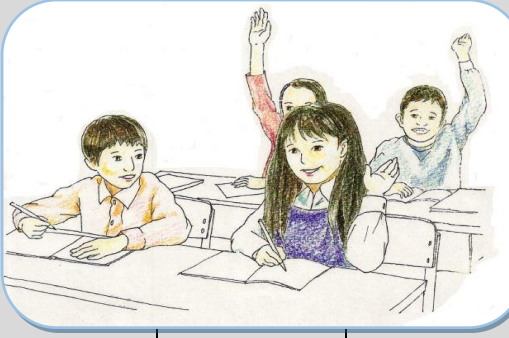
過去3年間の全国学力・学習状況調査の分析から明らかになった課題解決の方向性と具体的な解決方法

表記について

○【漢字の書き取り】課題 → 日頃から漢字を文や文章の中で正しく使えるようにする授業等の実施 → H27「国語①」
 解決の方向性 具体的な解決方法
 ※授業アドバイスシート参照

愛知県版結果分析プログラム

授業の改善・教育課程等の計画や編成の工夫・家庭との連携

| | 小学校 | | | | 中学校 | |
|----------|--|-----|-----|-----|--|-----|
| | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 1年生 | 2年生 |
| 国語 | ○【漢字の書き取り】→日頃から漢字を文や文章の中で正しく使えるようにする授業等の実施 →H27「国語①」、H28「国語①」、H29「国語①」 | | | | ○【多様な語句の意味の理解】→語句を場面に応じて適切に使う授業等の実施→H27「国語①」、H28「国語①」、H29「国語①」 ○【書写】→楷書と行書の違いを踏まえて書く授業等の実施 →H28「国語②」、H29「国語②」 | |
| |  | | | | ○【書くこと】→様々な条件に応じて、書く授業等の実施 ・表現の仕方を捉え、自分の考えを書く授業等の実施→H29「国語③」 ・根拠を明確にして、自分の考えを書く授業等の実施→H27「国語③」 ・適切な情報を得て、自分の考えをまとめる授業等の実施 →H27「国語②」、H28「国語①」 | |
| 算数 数学 | ○【図形】→図形の性質を根拠に自分の考えをもつ授業等の実施→H27「算数」 | | | | ○【図形】→図を活用し、図形に対する理解を深める授業等の実施 ・公式がもっている根拠を理解する授業等の実施→H29「数学②」 ・作図方法を理解する授業等の実施→H27「数学」 | |
| | ○【数と計算】→正しく理解し、その大切さに気付く授業等の実施 ・計算の順序や小数の計算を理解する授業等の実施→H29「算数①」、H28「算数」 ・公式のきまりを活用する授業等の実施→H28「算数」 | | | | ○【数学的な思考】→目的に応じて資料を整理し、理由を数学的に説明する力をつける授業等の実施 ・数学的に考察し、問題解決の方法を説明する授業等の実施 →H28「数学①」 ・根拠を明確にして、思考したり表現したりする授業等の実施 →H27「数学」 | |
| | ○【数量関係】→関係から数のおもしろさを実感する授業等の実施→H29「算数③」 | | | | | |
| 理科 | ○【実験器具の名称（顕微鏡等）や使い方の理解】→観察実験の際に使用する実験器具の名称や使い方を確実に習得する授業等の実施→H27「理科①」 | | | | ○【質量パーセント濃度の計算】→式のもつ意味を理解する授業等の実施→H27「理科②」 | |
| | ○【実験の考察と検証】→実験の結果と実験前の予想を照らし合わせ、考察する授業等の実施→H27「理科②」 | | | | ○【実験の立案】→仮説を設定し、検証する実験を計画する力をつける授業等の実施→H27「理科①」 | |
| 学習 状況 | ○【関心・意欲が低い】→学習に対する関心・意欲を高める授業等の実施→H29「共通①」 | | | | | |
| | ○【計画的に家庭学習をする児童生徒が少ない】→家庭で予習・復習を計画的に行う習慣をつける授業等の実施→H29「共通③」 | | | | | |

※平成27年度から平成29年度の「学力・学習状況充実プラン」は、義務教育課Webページに掲載しています。